

## 1 青森県の推計人口（平成15年2月1日現在） .....

県人口	1,466,346人	（対前月 678人減少、対前年同月 6,395人減少）
自然動態	435人減少	（出生者数 1,048人、死亡者数 1,483人）
社会動態	243人減少	（転入者数 3,056人、転出者数 3,299人）

## 2 本県の経済動向

### (1) 経済概況

本県経済の動向をみると、厳しい雇用情勢が続くなかで、有効求人倍率にプラスの動きがあるものの、大型小売店売上高の前年同月比や鉱工業生産指数の前月比のいずれも減少するなど、消費や生産でマイナス面が出てきており、厳しさが増している。

### (2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産 ..... 2  
平成14年12月の青森県鉱工業生産指数（平成7年=100）は、季節調整済指数が79.6で、前月比5.1%の低下となり、3ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は84.8となり、前年同月比で横ばいとなった。
- (2-2) 雇用情勢 ..... 3  
平成14年12月の現金給与総額（5人以上）は487,057円で名目賃金指数（平成12年=100）では169.8となり、前年同月比3.6%減となった。所定外労働時間（5人以上）は9.1時間で、所定外労働時間指数では105.8となり、前年同月比2.9%減となった。12月の有効求人倍率は0.34倍となり、前月を0.03ポイント上回った。 ..... 4
- (2-3) 物価 ..... 5  
平成15年1月の青森県消費者物価指数は、総合指数で100.1となり、前月比0.2%下落となり、2か月ぶりに前月を下回った。 ..... 6
- (2-4) 個人消費 ..... 7  
平成14年12月の大型小売店売上高は、全店舗ベースで前年同月比0.01%減の196億6千4百万円となり、既存店ベースでも前年同月比9.7%減といずれもマイナスとなった。平成14年12月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,217台で、前年同月比3.1%の減となり、2ヶ月ぶりに前年を下回った。
- (2-5) 住宅建設 ..... 6  
平成14年12月の新設住宅着工戸数は799戸で、貸家などの減少により前年同月比26.8%減と4ヶ月ぶりに減少した。

### (3) 景気動向指数（平成14年12月分） .....

先行指数	66.7%	（8か月連続50%を上回った）
一致指数	77.8%	（5か月連続50%を上回った）
遅行指数	71.4%	（6か月連続50%を上回った）

# 1 青森県の推計人口（平成15年2月1日現在）

## 【概況】

平成15年2月1日現在の本県推計人口は、1,466,346人で、前月に比べ678人、前年同月と比べると、6,395人それぞれ減少となった。

### ○自然動態

出生者数が1,048人、死亡者数が1,483人で、435人の減少となった。

1月中の統計としては、自然増加数が過去（昭和41年以降）最少となった。

### ○社会動態

転入者数が3,056人、転出者数が3,299人で、243人の減少となった。

### ○人口の回復状況

3月中の移動（転出超過等）に対する、4月から2月までの移動（転出超過等）による人口の回復状況は43.3%（前年同月71.2%）となり、平成5年以降の同時期との比較では、最も回復が遅れている。

## 総人口の推移

(単位：人)

	総数			対前月増減率	増加数	自然増加数			社会増加数		
		男	女			出生者数	死亡者数	社会増加数	転入者数	転出者数	
平 2. 10. 1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7. 10. 1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12. 10. 1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
14. 2. 1	1,472,741	700,550	772,191	-0.014%	-209	-233	1,022	1,255	24	2,987	2,963
14. 3. 1	1,471,961	700,099	771,862	-0.053%	-780	-146	915	1,061	-634	2,802	3,436
14. 4. 1	1,462,050	694,352	767,698	-0.673%	-9,911	-144	997	1,141	-9,767	7,601	17,368
14. 5. 1	1,467,713	697,949	769,764	0.387%	5,663	-28	1,106	1,134	5,691	12,926	7,235
14. 6. 1	1,467,873	698,055	769,818	0.011%	160	11	1,149	1,138	149	3,625	3,476
14. 7. 1	1,467,528	697,874	769,654	-0.024%	-345	-44	967	1,011	-301	2,749	3,050
14. 8. 1	1,467,434	697,787	769,647	-0.006%	-94	47	1,140	1,093	-141	4,036	4,177
14. 9. 1	1,468,047	698,220	769,827	0.042%	613	24	1,082	1,058	589	4,412	3,823
14. 10. 1	1,467,788	698,013	769,775	-0.018%	-259	-14	1,046	1,060	-245	3,401	3,646
14. 11. 1	1,467,882	698,023	769,859	0.006%	94	37	1,160	1,123	57	3,858	3,801
14. 12. 1	1,467,469	697,786	769,683	-0.028%	-413	-248	946	1,194	-165	2,913	3,078
15. 1. 1	1,467,024	697,542	769,482	-0.030%	-445	-264	898	1,162	-181	3,165	3,346
15. 2. 1	1,466,346	697,074	769,272	-0.046%	-678	-435	1,048	1,483	-243	3,056	3,299

## 1月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月	平6.1	7.1	8.1	9.1	10.1	11.1	12.1	13.1	14.1	15.1
出生者数	1,221	1,134	1,149	1,137	1,192	1,131	1,110	1,101	1,022	1,048
死亡者数	1,125	1,359	1,199	1,555	1,232	1,473	1,398	1,322	1,255	1,483
自然増加数	96	-225	-50	-418	-40	-342	-288	-221	-233	-435

## 3月中の移動（転出超過等）に対する、4月から2月までの移動（転出超過等）による人口の回復状況

年月日	平6.2.1	7.2.1	8.2.1	9.2.1	10.2.1	11.2.1	12.2.1	13.2.1	14.2.1	15.2.1
回復状況	95.1%	111.2%	106.6%	91.8%	86.9%	74.5%	71.7%	75.3%	71.2%	43.3%

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成14年2月1日から平成15年2月1日までの人口は平成12年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増加数は、平成2、7、12年が前回、その他が前月に対するものである。

※4 社会動態の算定には、県間移動数に加え、県内市町村間移動数を含めている。

## 2 本県の経済動向

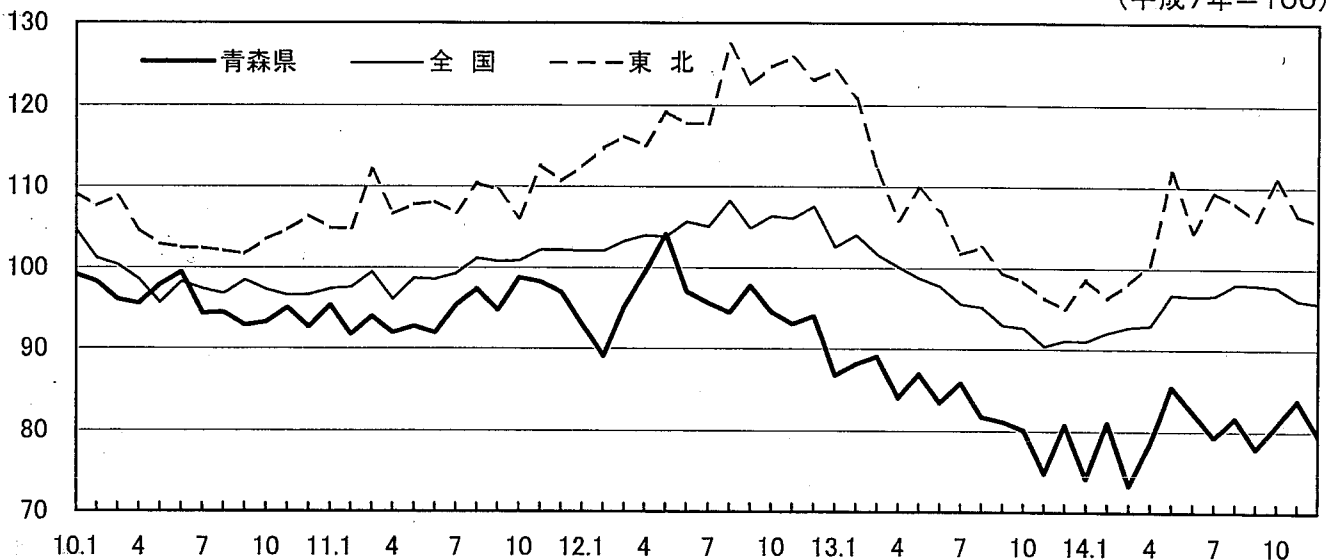
### (2) 主要経済指標の動向

#### (2-1) 製造業の生産

平成14年12月の青森県鉱工業生産指数（平成7年=100）は、季節調整済指数が79.6で、前月比5.1%の低下となった。また、原指数は84.8で、前年同月比で横ばいとなった。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、輸送機械工業、一般機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが上昇に寄与した一方、金属製品工業、化学工業、精密機械工業などが低下し、鉱工業全体では5.1%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移（季節調整済指数）（平成7年=100）

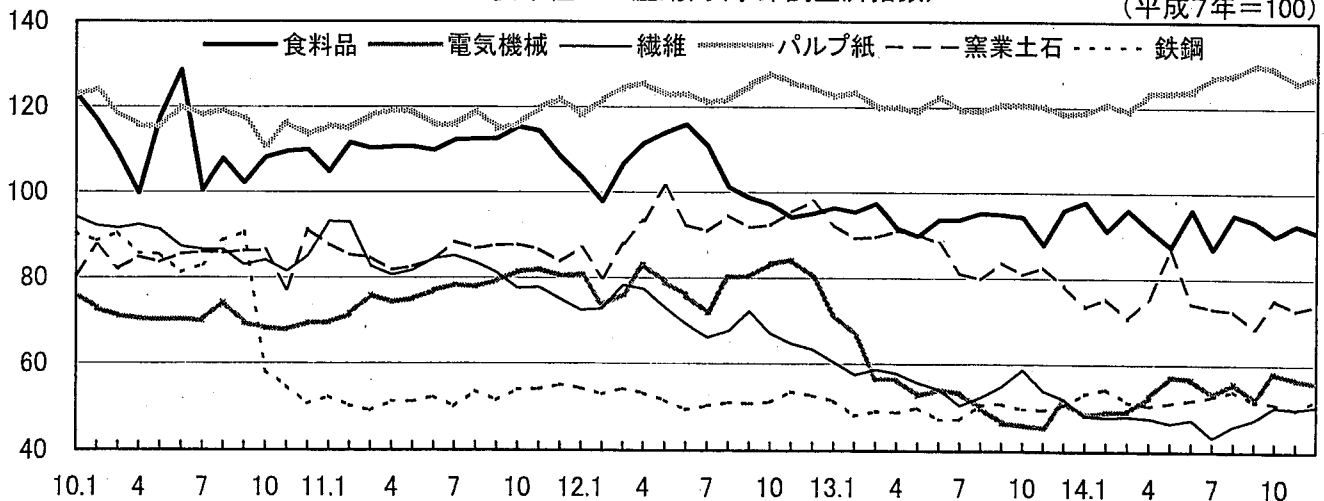


◎業種別動向(前月比)

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
(鉱工業)				-5.1	-100.0
輸送機械工業	260.4	47.4	金属製品工業	-63.8	-84.6
一般機械工業	8.6	10.0	化学工業	-47.9	-51.3
パルプ・紙・紙加工品工業	1.5	3.7	精密機械工業	-18.6	-12.7
鉄鋼業	4.8	3.5	食料品工業	-1.7	-11.4
窯業・土石製品工業	1.6	2.1	電気機械工業	-1.6	-4.5

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成7年=100)

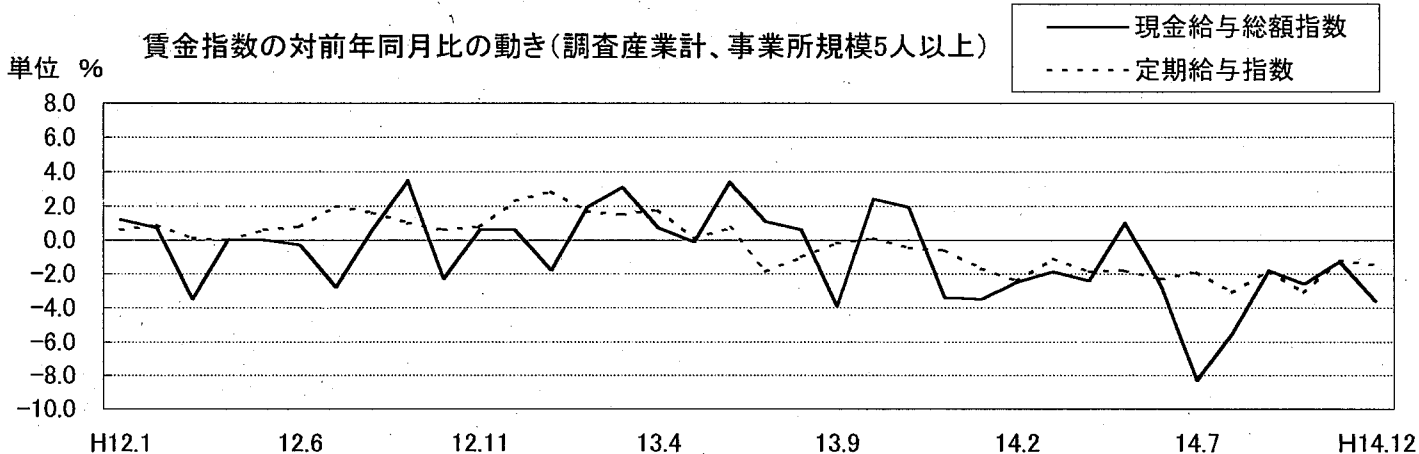


資料：県統計情報課「鉱工業生産指数月報」

## (2-2) 雇用情勢

平成14年12月の現金給与総額は487,057円で現金給与総額指数(平成12年=100)では169.8となり、前年同月比3.6%減となった。このうち、定期給与は233,173円で定期給与指数では98.7となり、前年同月比1.5%減となった。実額で比較した定期給与の全国対比は83.1となった。

所定外労働時間は9.1時間で、所定外労働時間指数では105.8となり、前年同月比2.9%減となった。12月の有効求人倍率は0.34倍となり、前月より0.03ポイント上回り、4ヶ月連続して上昇した。



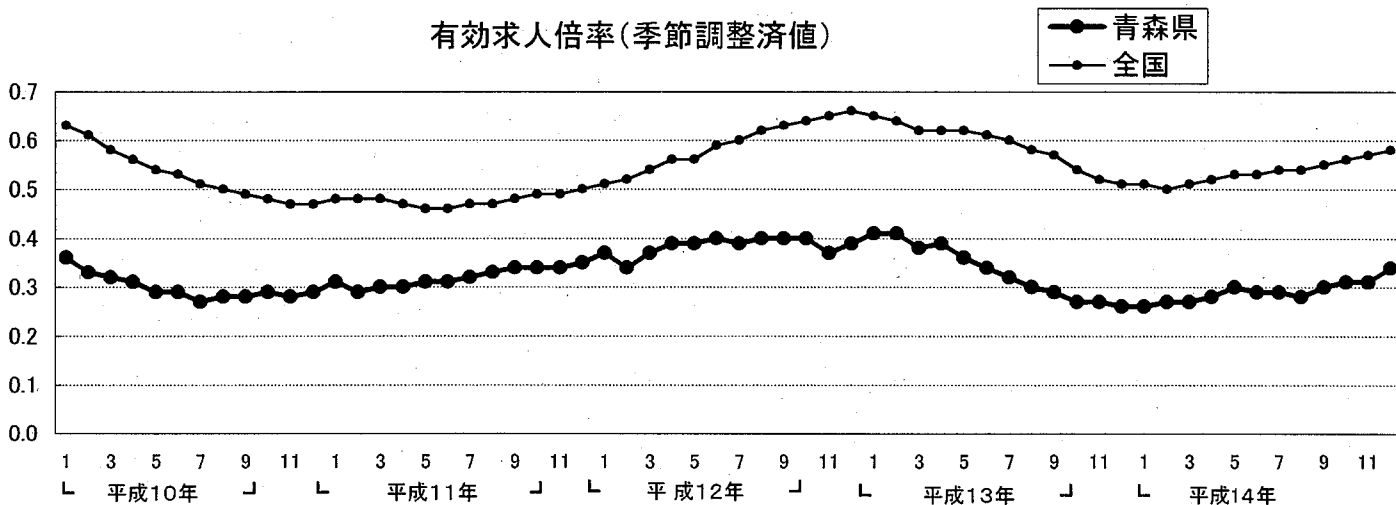
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	487,057 円	630,414 円	169.8	177.3	-3.6 %	-2.7 %
定期給与	233,173 円	280,697 円	98.7	98.8	-1.5 %	-0.6 %
特別給与	253,884 円	349,717 円	—	—	—	—
総実労働時間	159.7 時間	153.2 時間	100.7	99.1	-0.2 %	-0.3 %
所定内労働時間	150.6 時間	143.0 時間	100.3	98.8	-0.2 %	-0.7 %
所定外労働時間	9.1 時間	10.2 時間	105.8	103.0	-2.9 %	6.4 %

(注) 1. 定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。2. 前年同月比は指数によって算出している。

資料: 県統計情報課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

有効求人倍率(季節調整済値)



資料: 青森労働局職業安定部職業安定課

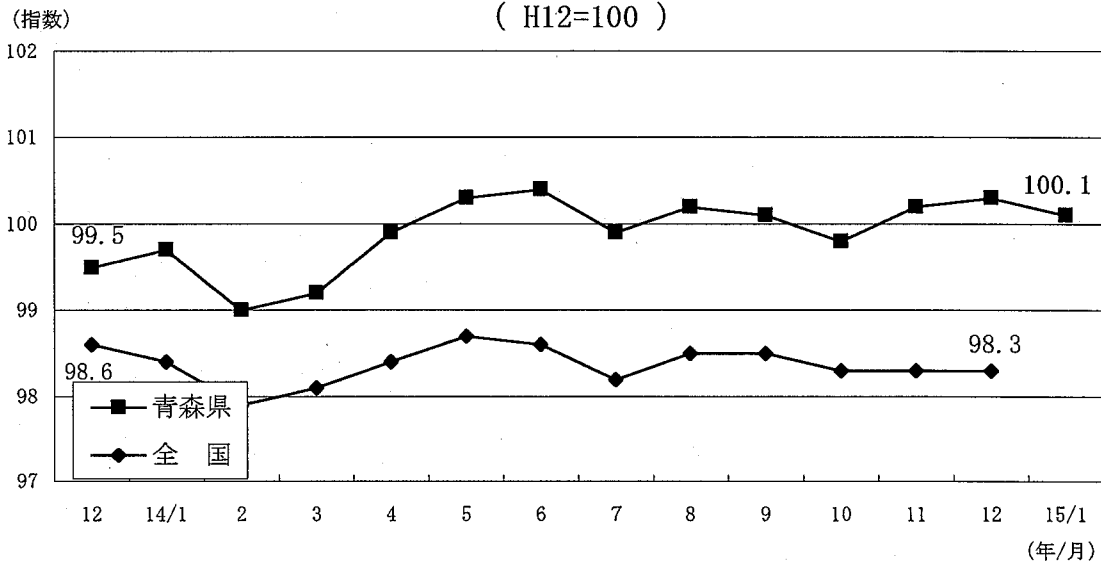
### (2-3) 物価

平成15年1月の青森県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で100.1となり、前月比0.2%下落、前年同月比0.4%上昇した。

前月指数と比較すると、「被服及び履き物」は、衣料（冬物の女性用スーツ・コート等）の値下がり等により下落した。

「食料」は、生鮮野菜（レタス・アスパラガス・ピーマン等）の値上がり等により上昇した。

月別総合指数  
(H12=100)



### 10大費目別指数の動き

(平成12年=100)

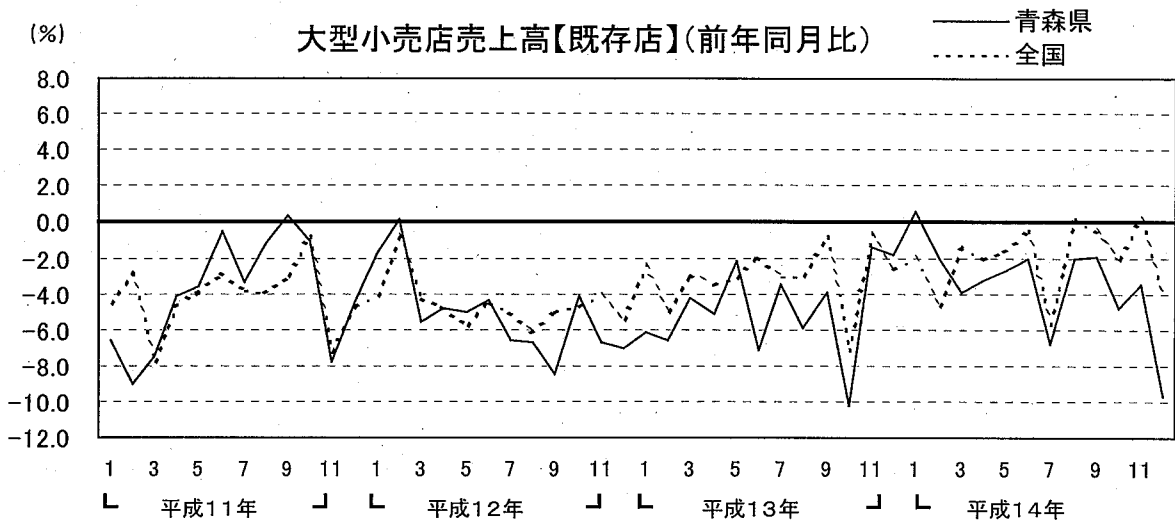
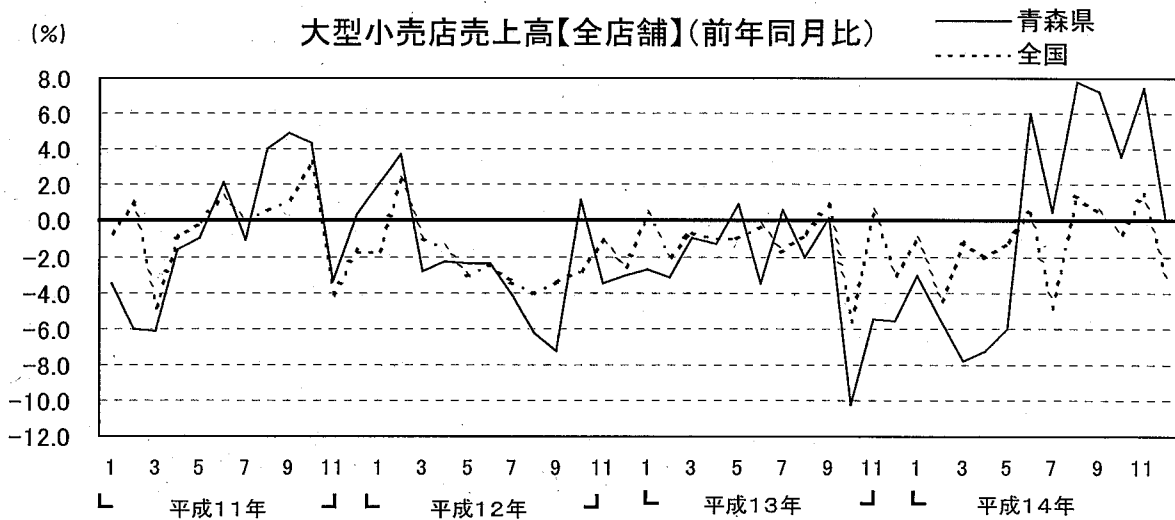
	総合	総合 (持ち家の 家賃を除く)		食料	生鮮食品	住居	光熱・ 水道	家具 ・家事 用品	被服及 び履 き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養娛 楽	諸雑費
		総合 (生鮮 食品を 除く)												
当月指数	100.1	98.7	99.8	101.2	104.5	106.4	99.0	94.2	94.1	103.7	97.3	105.1	92.1	99.2
前月比	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.5	0.7	5.3	0.0	0.7	▲ 0.1	▲ 6.3	▲ 0.6	0.1	0.0	▲ 0.4	▲ 0.4
前年同月比	0.4	▲ 0.1	0.0	1.0	7.8	2.6	▲ 1.2	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 0.1	3.9	▲ 2.1	▲ 0.5

資料：県統計情報課「青森県消費者物価指数月報」

## (2-4) 個人消費

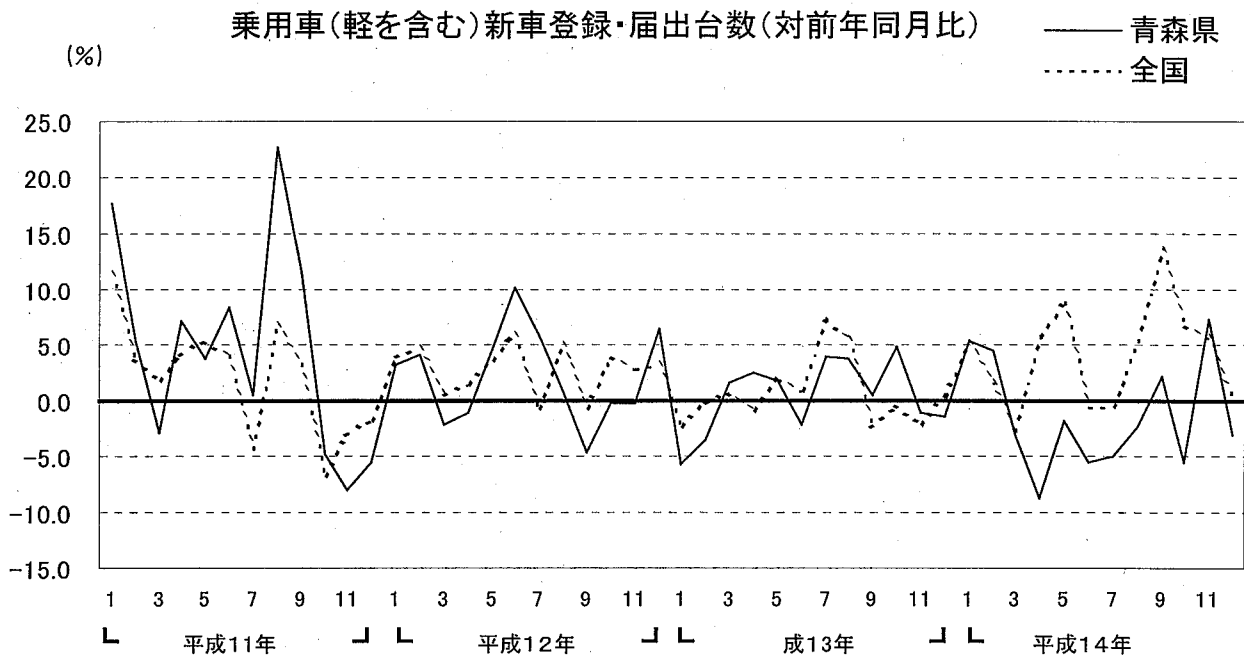
平成14年12月の大型小売店売上高は、全店舗ベースではスーパーの飲食料品などの伸びが寄与したものの、前年同月比0.01%減の196億6千4百万円となったほか、既存店ベースでも前年同月比9.7%減と7ヶ月ぶりに全店舗ベース、既存店ベースのいずれにおいてもマイナスとなった。

平成14年12月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,217台で、小型乗用車は増加したが、普通乗用車、軽乗用車はいずれも減少したことから前年同月比3.1%減となり、2ヶ月ぶりに前年を下回った。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

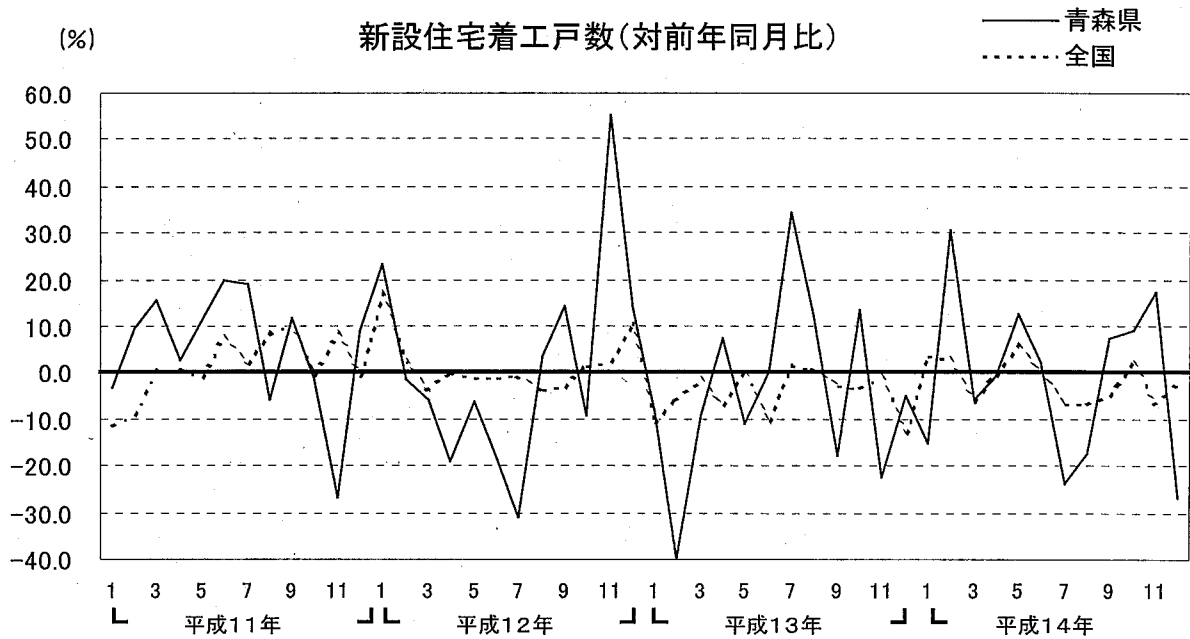
※ 大型小売店は従業者が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。  
そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、  
日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

### (2-5) 住宅建設

平成14年12月の県内新設住宅着工戸数は799戸で、貸家などの減少により前年同月比26.8%減と4ヶ月ぶりに減少となった。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

### (3) 青森県景気動向指数

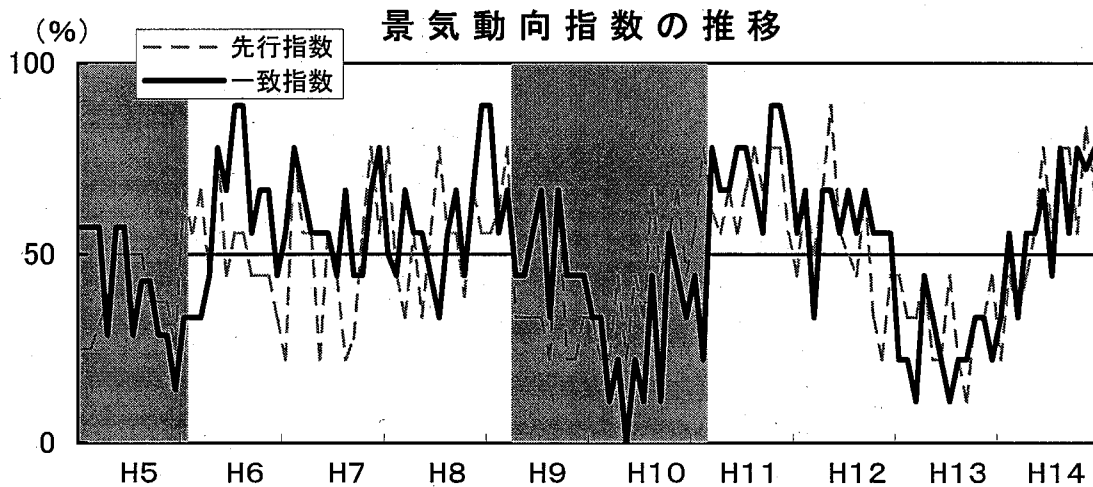
平成14年12月の青森県景気動向指数は、先行指数66.7%、一致指数77.8%、遅行指数71.4%となった。

先行指数は、8か月連続50%を上回った。

一致指数は、5か月連続50%を上回った。

遅行指数は、6か月連続50%を上回った。

12月の一致指数は、生産関連、雇用関連等の指標がプラスであったことから、50%を上回った。



※灰色部分は本県景気の後退局面

#### ●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています)

プラスの指標		マイナスの指標	
<b>先行系列 (9指標中6指標がプラス)</b>			
所定外労働時間指数 (全産業)	6か月連続	入職率 (製造業)	2か月ぶり
生産財生産指数	5か月連続	新規求人数 (常用)	2か月ぶり
建築着工床面積 (鉱+商+サ)	2か月連続	新設住宅着工戸数	5か月ぶり
乗用車新車登録届出台数	2か月連続		
企業倒産負債額	2か月ぶり		
中小企業景況DI	前月保合		
<b>一致系列 (9指標中7指標がプラス)</b>			
大口電力使用量	9か月連続	大型小売店販売額 (実質)	2か月連続
東北自動車道IC利用台数	6か月連続	海上出入貨物量 (八戸港)	2か月ぶり
有効求人数 (常用)	5か月連続		
日銀券月中発行高	3か月連続		
鉱工業生産指数	2か月連続		
雇用保険基本手当初回受給者数	2か月ぶり		
電気機械生産指数	前月保合		
<b>遅行系列 (7指標中5指標がプラス)</b>			
常用雇用指数 (製造業)	7か月連続	単位労働コスト (製造業)	5か月連続
信用保証申込金額	6か月連続	勤労者世帯家計消費支出 (実質)	4か月ぶり
輸入通関実績 (八戸港)	3か月連続		
1人平均月間現金給与総額	2か月ぶり		
消費者物価指数 (帰属家賃除く総合)	前月保合		

資料：県統計情報課「青森県景気動向指数月報」